

【一面より】 「核兵器は戦争を押し進める道具。大の人権侵害。命も故郷も奪う。武力強化ではなく、外交に力を入れるべき」と述べました。

香川革新懇が集い ロシア・やさしく強い経済

香川革新懇は4月29日日本共産党の大門みきし参院議員と、教育学者の本田由紀・東京大学教授を招き、「社会を結びなおす」と題した対談方式のつどいを高松市内で行いました。



白川よう子党四国ブロック国政対策委員長がコー

ロシア問題で宣伝

香川革新懇は6日、高松市で宣伝しました。日本共産党の岡田まなみ市議、立憲民主党県連の吉峰幸夫市議、新社会党の井角操県本部委員長、社民党県連の三野ハル子代表がリレートーク。参加者は改憲ノー、ロシア撤退の意思をすすプラストなどを手に集まりました。



岡田氏は「唯一の被爆国として、核兵器で人が傷つくことは許されない。21世紀の到達点の一つは、ジェンダー平等。しかし、戦争で一番傷つくのは女性や子どもです。」

平和行進 8日県内入り

《原水爆禁止国民平和行進》

2022年原水爆禁止国民平和行進四国コース・香川県内コースが、8日から始まりました。徳島県境での引き継ぎ式の後、西へ向けて出発しました。



香川県の日本民主青年同盟などをつくる学生支援の実行委員会は4月30日、高松市内の公園で食料支援の活動に取り組みました。会場には、有志から提供された米やレト

高松で学生支援

東アツアサミットを、平和の枠組みとして強化し、東アツア規模での友好協力条約を展望する」大構想を示しました。

憲法施行75周年にあたって

日本共産党は3日、憲法施行75周年にあたっての談話を小池書記局長名で発表しました。

談話は「ロシアのウクライナ侵略に際し、このときばかりに、日本を『戦争する国』に作り変える動きが露骨になってきている」と指摘。「敵基地攻撃は、米



国、ロシア、なども参加する

集団的自衛権を容認した安保法制の下で、日本が攻撃されていなくとも自衛隊が米軍の相手国中枢に攻め込むもので、相手国からの猛反響を呼び込む全面戦争への道となる。『専守防衛』を投げ捨て、自衛隊を変質させ、大手を振って戦争する国に変える、この道を推進するための9条改憲に断固として反対する」と強調しました。

また、安倍元首相や維新の会の各共有について「被爆国の政党・政治家にあるまじきこと。際限のない、核軍拡と、核戦争の危険を増大させるだけであり、核兵器使用を止める唯一の保障は全世界から核兵器を廃絶することしかない」と求めています。

また、党は「9条に示された平和主義を守るとともに『幸福追求権』『生存権』『財産権』など、憲法が国民に保障した豊かな権利を全面的に実現する政治、憲法を生かした政治を実現するために力を尽くす」決意を述べています。



助けられている」と語りました。友人に誘われて初めて訪れた別の学生(20)は食料でいっぱいになった袋をかかえ「すごい取り組み。また来た

ひかり書店で好評発売中
新版 たたかひの記録 三つの覇権主義 不破哲三
 ソ連、中国、北朝鮮からの日本共産党への内政干渉と闘ってきた党の歴史 党史の重要な側面をなす覇権主義との闘争の生きた記録
 注文は087-834-7311

日本共産党の内田信吾善通寺市議は先の市議会で難聴の高齢者の生活を向上できるような補聴器購入の助成制度創設を求めました。

『高齢者の二人に一人は難聴であると言われるなか、難聴は生活の質の低下や認知症のリスクを高めること』『購入の高さが大きなハードルになっていること』を指摘し、助成制度創設を求めました。

市は、『補聴器の助成は身体障害手帳の交付を受けた場合には購入費用の助成があるが、受けない人は費用負担していること』を報告。『補助創設の予定はないが、こまやかな支援ができるよう努めたい』と答えました。

補聴器購入の助成制度を 善通寺



民青の藤沢直人県委員長は「大学1年生の時から来ているリピーターの学生さんたちは今年3年生になっていて。コロナ禍で困っている学生の現状は変わっていない。支援を続けていきたい」と語りました。